

# 自家用車でデマンド型送迎サービス

## 邑南町口羽地区、阿須那地区



中山間地域の公民館エリアでは、地域課題の解決に取り組む「小さな拠点づくり」が進められています。しかし、人口減少と高齢化が進み、単独での取組が困難になることも考えられます。県では複数の公民館エリアの連携による取組を「モデル地区」として支援しています。

邑南町羽須美地域（口羽、阿須那両地区）の人口は、昭和22年の6731人から、令和3年には1339人まで減少しています。また、平成30年には地域内外をつなぐJＲ三江線が廃止され、重要な交通インフラがなくなりました。

交通や買い物など生活機能の維持が大きな課題となる中、地元住民が設立したNPO法人はすみ振興会は平成31年4月、有料デマンド型送迎サービス「はすみデマンド」を開始。羽須美地域の両地区から住民ドライパーを出し合い、それぞれの自家用車を使って地域内を送迎します。

それまで高齢者が外出するには、バス停まで自力で移動する必要がありました。が、「はすみデマンド」では自宅への送迎が可能となり、移動の負担は大幅に軽減。8割以上が通院目的で、利用者にとって欠かせない交通手段となっています。

予約から配車の手配は全て電話連絡となっていました。が、

令和2年4月に実証実験として新しい予約システムを導入。ドライパーが専用のタブレット端末を携帯し、JＲ西日本と共同開発中の管理システムを利用することで、いつでも配車指示や運行状況、運転記録が確認できるようにになりました。情報通信技術（ICT）を活用し、両地区を効率よく運行することで、地域住民の移動を支えます。

昨年度の住民アンケートでは「地域外への交通手段の整備」を求める声が多かった結果に。今後は誰もが気軽に羽須美地域外へも移動できるよう、地域と邑南町が連携して、バスターミナルを備えた交通拠点を整備していきます。はすみ振興会の小田博之副理事長は「拠点は交通の他にも、買い物やカフェスペースなど住民が自由に利用し、交流できる便利な施設にしたい」と意気込みます。

口羽と阿須那両地区の住民が力を合わせ、生活機能を維持する仕組みを作り上げていきます。

### 安心して暮らし続けられる環境づくり

- 気軽に地域外に移動できる交通手段の確保や買い物の場づくり、福祉関連相談窓口の一本化

### 誰もが楽しく暮らせる「集いの場づくり」

- 困ったときに相談できる窓口、住民主体のサロンの充実

### 出身者や関係人口としっかりつながる体制づくり

- 空き家活用の仕組みづくりや情報発信体制の強化

口羽・阿須那地区の主な取組



デマンド交通の車両に乗り込む利用者をサポートするドライバー（左）

「小さな拠点づくり」をサポートしています

県では、「小さな拠点づくり」に向けて、市町村の職員と連携して住民の皆さまをサポートしています。

活用しよう「しまねの郷づくり応援サイト」  
各地区の人口推計などがご覧いただけます！

しまねの郷づくり応援サイト

検索

■ 問い合わせ先 / 中山間地域・離島振興課 TEL 0852・22・5065